

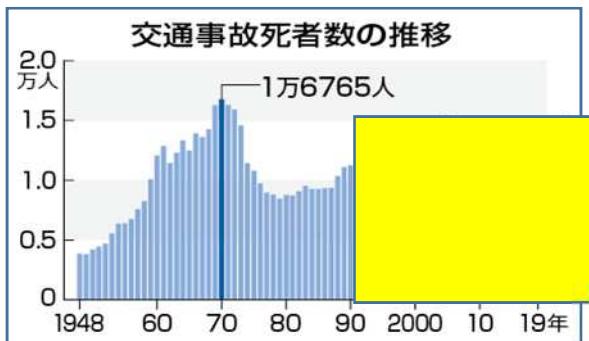
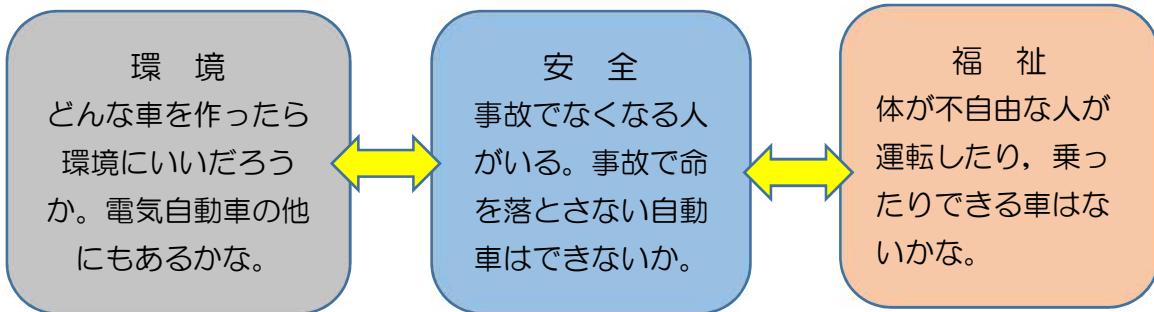
社会科の窓 VOL 12

令和3年12月20日

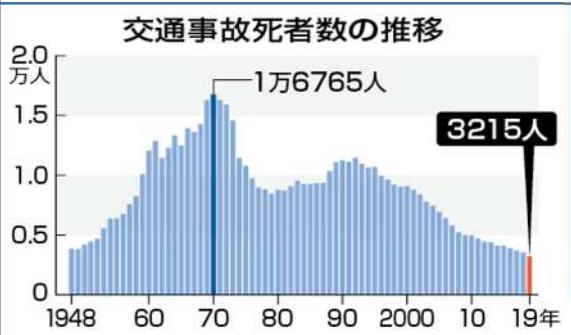
京都市立稻荷小学校 校長 吉山 茂樹

～これからの自動車づくり（5年）PART1～

久しぶりの「社会科の窓」です。先日、このホームページで、私自身が授業をしたことをご紹介しました。その内容をまとめてみたいと思います。5年生「工業」の単元では、多くは自動車産業を扱います。自動車を組み立てる様子を調べ、効率よく生産ラインにのって自動車ができ上っていく様子を理解します。この単元の最後に「これからの車」ということで、将来を見据えてどのような自動車の開発が必要を考えていきます。キーワードは、下の3つ「環境」「安全」「福祉」です。この3つを総合的に調べまとめるか、どれか一つに絞って、深く探究するか考えていきたいところです。私は、「安全」にしぼって深く考えさせて授業を行いましたので、その様子を紹介します。

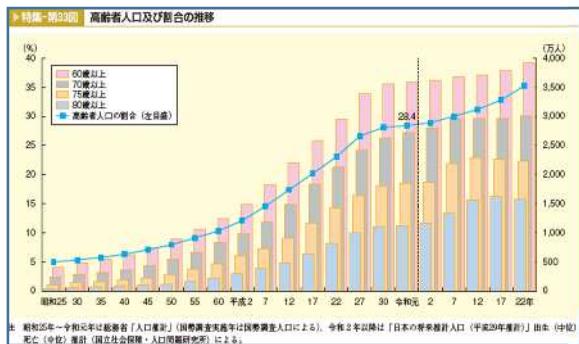


まず、このグラフの1970年以降を
隠し、交通事故死者数がどうなるか
予想させました。



約16000人から、約
3200人に減っている。
きっと安全な工夫がされ
ているに違いない。

さらにダメ押しの資料を提示します。



高齢者の事故がとても増えている。さらに、安全な車を作る必要があるぞ。



そこで、以下の学習問題ができ上ってきました。

事故から命を守るためにどのような自動車があったらよいだろうか。
～開発者の視点で～



まずは、自分で考える。



ペアでプロジェクトチームとして考える。



次号に続く。